

2019Japan National Team Report "選手"



報告者	クラブ 海陽海洋クラブ 学年 中3 氏名 川前優太		
大会名	アジアオセアニア選手権		
開催地	オマーン（ムッサナー）		
大会期間	2019/09/30～2019/10/08		
セールNo	JPN 3355	最終順位	106位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	湿度が高く、気温も高く、毎日晴れていた。ウエアはラッシュ1枚で十分、とても日差しが強く帽子が必須だった。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	9時頃は、ハーバーの正面から吹いているのに、4時ぐらいになるとハーバーの真横から吹く。1日を通して少しずつ右に振れていったのが、ほぼ毎日続いた。
セッティングで注意したこと	波長が短かったので、アウトホールを少し抜き気味にして、スピードで前に出られるように心がけた。
セーリングで注意したこと	波に極力たたかれないようにし、マストを揺らさないように走った。
海上で練習したこと	スピード練習、レース練習。
実際のスベリはどうか？	スピードではついていけたけど、角度でやられることが多かった。

スタートは、どうでしたか？	張り切りすぎて、第一レースからBFDになってしまった。 海上では、陸がなく目印となるものがなかったので、大変だった。 下スタで、うまく切れた時は、みんなの前を通ることができた。
コース戦略はどうでしたか？	スタートがうまくいった時のコース取りはうまくいったが、うまくスタートできなかった時は、 打開が難しかった。
自分より上位の選手との違いは？	上位の選手は一つ一つの波にしっかり対処していた。乗り方が丁寧。
国内の練習で役立ったこと	スタート練習。
国内の練習で足りなかったこと	国内でスピード練習をする時に、スピード重視の走り方から、角度重視の走り方に、切り替えておくべきだった。
印象に残った外国選手は？	一緒に練習したマレーシアの選手。 とても丁寧に乗っていたから。
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	英語がとても大事だと思った。
今後の課題と目標は？	高校でもヨットを続けたい。
JODAへの要望	長い間、ありがとうございました。
その他	

ご協力ありがとうございました
JODA海外派遣委員会